

平成19年度事業計画

- 1 標準規格の採択: 会員各団体から申請のあった標準案について、他の内外の規格との整合性、一貫性、また当該標準案の完成度、維持体制などについて審議し、目的ごとに使用すべき標準規格を採択し、「医療情報標準化指針」を策定する。
今年度は、各団体からの申請以外に、標準臨床検査項目コード、J-MIX(情報項目交換セット)、JJ1017指針(HIS-RIS-PACSモダリティ間情報連携指針)などを焦点として申請可能かどうか各団体と協議し、可能であれば申請してもらい審議を進める。また、すでにHELICS規格となったものについても、更新などその後の運用に問題がないか検討する。
- 2 情報の提供: 標準化の推進のための情報として「医療情報標準化レポート」を各会員団体に依頼し、特にISO/TC215での動向や、IHE-J、HL7の動向の概略を要約して掲載し、周知を図る。
- 3 標準化の普及を目的としてシンポジウム等の開催
7月総会時に東京で講演会を開催する。
第5回HELICSシンポジウムを医療情報学連合大会時に開催する。
- 4 HELICS協議会を説明するパンフレットを、関連団体や学会で配布する。
- 5 IHE-Jの活動との連携・情報交換を推進する。
- 6 HELICSニュースを発行する。
- 7 標準化の現状について調査する。

2007年度(平成19年度)収支予算(案) (2007.4.1~2008.3.31)

1 収入の部		(円)
科 目	2007年度予算額	備考
1.財産運用収入	0	
2.会費収入		
正会員	200,000	5万円×4団体
幹事会員	600,000	10万円×6団体
3.事業収入	0	
4.雑収入	0	
小計	800,000	
前年度繰越金	2,812,850	
当期収入合計	3,612,850	
2 支出の部		
科 目	2006年度予算額	備考
1.事業費		
シンポジウム	360,000	会場費、講師旅費など
広報活動	1,000,000	HELICSニュース、パンフレット、ホームページ
2.管理費		
会議費	150,000	
印刷費	30,000	
消耗品費	10,000	
通信運搬費	10,000	切手代など
交通費	200,000	理事会、委員会など
雑役務費	20,000	振込手数料、ドメイン料など
3.予備費	20,000	
小計	1,800,000	
次年度繰越金	1,812,850	
当期支出合計	3,612,850	